



受賞者を代表してあいさつする土屋學さん

～受賞者紹介～

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ○土屋 學 様
町農業委員会の委員18年 | ○山岸 則夫 様
町統計調査員20年 |
| ○土屋 一男 様
町主任児童委員15年 | ○安川 啓介 様
町統計調査員15年 |
| ○山崎 秋治 様
町統計調査員25年 | ○柳澤 敏彦 様
町消防団員24年 |
| ○青木 芳則 様
町統計調査員20年 | ○石橋 和美 様
町消防団長2年 |

表彰状

感謝状

- | | |
|---|--|
| ○清水 一功 様
ふるさと納税を通じて町政の振興に多大に寄与されました。 | ○株式会社星一 様
株式会社みつわ 様
株式会社グローバル
トミイエコンサルティング 様 |
| ○戸塚酒造株式会社 様
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒用アルコールを大量に寄贈いただきました。 | ○みよたまっち 様
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒用次亜塩素酸水を大量に寄贈いただきました。 |

御代田町合併記念日である9月30日に町合併記念式典が行われました。昭和31年9月30日に3村（御代田村、小沼村、伍賀村）が合併して御代田町が発足し、今年で64周年になります。町表彰条例に基づき、町政の進展にご尽力いただいた皆さまへ表彰状、感謝状と記念品を贈呈しました。

問い合わせ先 総務課庶務係（32）3111

町関係の年末年始の予定

町関係施設等の年末年始休業

施設名等	休業日
役場	12月29日(火)～1月3日(日)
児童館(大林・東原)	12月29日(火)～1月3日(日)
やまゆり・雪窓保育園	12月29日(火)～1月3日(日)
南小学校	12月26日(土)～1月6日(水)
北小学校	12月26日(土)～1月6日(水)
中学校	12月26日(土)～1月5日(火)
公民館	12月28日(月)～1月4日(月)
図書館	12月28日(月)～1月5日(火)
博物館	12月28日(月)～1月4日(月)
社会体育施設	12月28日(月)～1月4日(月)
ハートピアみよた	12月29日(火)～1月3日(日)

火葬場(佐久平斎場)

1月1日(金)	休業	※受付業務は通常どおり役場で行います。
2日(土)以降	通常開場	

問い合わせ先 佐久平斎場 0267(88)8321

ごみ収集

年内最終収集日

資源物	12月27日(日)	※年始の収集は1月4日(月)生ごみからです。
プラ製容器包装	12月22日(火)	
不燃ごみ	12月23日(水)	
生ごみ	12月28日(月)	
可燃ごみ	12月25日(金)	

直接搬入ごみ 施設最終開場日

井戸沢最終処分場	12月27日(日)	※イー・ステージ(株)への搬入について、詳細はお問い合わせください。
イー・ステージ(株)	12月29日(火)	

問い合わせ先 イー・ステージ(株) 0267(23)8855

>> Vol.13 町長コラム

このコーナーでは毎号、小園町長が「町民の皆さんに届けたいメッセージ」を綴ります。

戦争を知らない子どもたちの子どもとして

10月末に県の戦没者追悼式に出席し、今月11日には町の戦没者追悼式を主催させていただきました。戦後75年。町民の多くが、先の大戦終結時に生まれてもいないというところまで時代は進んできました。だからこそ、戦争の災禍については、「戦争を知らない子どもたち」のさらに子どもである私としても、人生をかけて語り継いでいかなくては、との思いを新たにしました。

私の母方の祖父は明治生まれで、当時の満州にわたった後、終戦を迎えてソ連軍に連行され、シベリアで抑留生活を送りました。周囲が栄養失調や病気で亡くなっていく中、気持ちを強く持って「生」にしがみつき続けることにはどれだけの労苦があったことでしょう。

父方の祖父は昭和3年生まれ。東京の人間でしたが、志願の少年兵として鹿児島鹿屋基地の特攻隊員となっていました。出撃前に終戦を迎え、東京に戻らずそのまま鹿児島に残り、地元の家に入って小園の姓を継ぎました。12年前に失火で焼死したとの報を受け、北海道から駆けつけ、祖父が亡くなっていた自室に入り、大変驚きました。それまで祖父の部屋には入った記憶がなかったのですが、特攻隊の戦友たちに関するあらゆる資料がさほど焼けずに残っていたのです。毎夜、戦死を遂げた同期と語り合っていたのだろうか、とこみ上げるものがありました。

戦争に関する評価は人によってさまざまと思いますが、私は、戦争は絶対悪だと考えております。そのうえで、私たちの祖先に何があったのか、何を考えていたのかを知ることはとても大事なことだと思います。いまの私たちの暮らしが決して当たり前ものではないことを頭の片隅に置いておくだけで、日々の生活の「見え方」が変わってくるように思います。

私の一番の後悔が、両方の祖父から、戦争のことをほっぽまったく聞かなくなったことです。身近に聞ける人がいるかたは、今からでも遅くありません、当時のことを聞いてみてください。これからは戦争のない時代を継いでいくことが私たちの務めだと思います。